

新報

ののうちの まこと VOL 34

発行：ののうち誠後援会
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp

ブログで日々の活動を紹介しています。フェイスブックもやっています。
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

後援会だより—January

発行日:2020年1月30日

今年はおリンピック年ですね

今年8月の東京オリンピックとパラリンピックが最大の話です。オリンピックといえば、松江市名誉市民の岸清一先生を忘れることはできません。日本の体育・スポーツ界発展のため尽力し“近代スポーツの父”として慕われました。岸先生ゆかりの地を巡る聖火リレーでは、県庁前の銅像を介して見守ってくださることでしよう。日本選手団の大活躍で明るい年になるよう願っています。

そして、日米貿易協定が1月1日に発効になりました。農業人としては推移が大いに気になるところです。

一方、松江市では、松江城天守が国宝になって5周年を迎え7月には記念シンポジウムがあるようです。また、令和2年度は第二次総合戦略のスタート年でもあります。地方創生の推進や産業振興など待ったなしの課題が待ち受けています。東出雲町でも、統合公民館と支所等との複合施設建設など課題が山積んでいます。皆さんの総意に従って活動していきたいと考えています。

野々内は、地元の文化イベントの立ち上げを2件予定



東京オリンピックのメイン会場となる新しい国立競技場

するほか、今年も一生懸命に諸課題に向き合っていくと考えています。引き続きのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



最近の活動から

姉妹都市・宝塚市との交流

10月9日に、議会交流の一環で兵庫県宝塚市を訪問しました。特急まつかぜが宝塚駅に停車した縁で、昭和40年に交流が始まったという宝塚市。

姉妹都市の交流で昭和54年から議会の相互訪問を行って40年、前回の宝塚市訪問は平成24年で7年ぶりの訪問交流です。なじみの宝塚市議員も増え、研修を交え相互の交流を深めました。



宝塚市議会議員の皆さんと交流

菅田庵竣工記念茶会

70年ぶりとなる根本的な整備を終え、「重要文化財・菅田庵」の竣工披露記念茶会が、11月16日に同庵で開かれ出席しました。

大名茶人・松平不昧公の指図で建設された茶室で、ご当主の不昧流宗家 有澤一男氏のお手前で抹茶をいただきました。思い出に残る至福の経験をさせていただきました。



次客で臨んだ菅田庵竣工記念茶会

意宇平野でイベントを計画中

松江武者行列の監修者の舞踊家・藤間信乃輔さんの強い思いから、意宇平野の夕日を背に、田の神に感謝の舞をするイベントを計画中です。

12月16日に藤間さんが来松され、イベント候補地などを案内し、意見交換を行いました。今秋10月に開催予定で、実行委員会を結成して準備を進めていく考えです。どうぞ委員会にご参加ください。

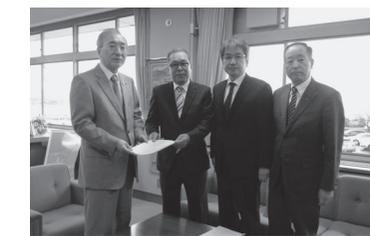


藤間信乃輔さんと共に

監査委員としての市長への監査報告

12月24日、松江市監査委員として11月に実施した「令和元年度財政援助団体等監査」の報告を、市長室で松浦市長に行いました。

毎年度市が出資や補助等を行っている団体に対して、抽出した団体に出納や事務の執行が適正かつ効率的に行われているかを監査実施しているもの。本年度は、「公益社団法人 松江市シルバー人材センター」と「株式会社 玉造温泉ゆうゆう」、



松浦市長へ市関連団体の監査報告

「公益財団法人 松江市観光振興公社」の3団体等でした。全体としては適正に執行されている旨を報告しましたが、個別の課題についても意見交換を行いました。

後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.34を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ(現在69歳)出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職(平成23年3月に町参事を最後に退職)→平成23年8月松江市議会初当選、平成25年4月2期目当選 平成29年4月3期目当選

ホームページ、
ブログはこちらから



◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
TEL・FAX / 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

「意宇川防災訓練(浸被害)」が、10月6日に竹天地区と東出雲地区(今宮春日)を対象に実施されました。意宇川沿岸で防災訓練を実施し、避難情報の周知を行うものです。住民一人一人が確実な避難行動がとれるよう「意宇川タイムライン」に基づき訓練が実施されました。東出雲支所での対策本部設置・運営訓練、出雲郷小学校での避難所開設と住民避難訓練などが実



10月6日の意宇川防災訓練

「意宇川防災訓練(浸被害)」が、10月6日に竹天地区と東出雲地区(今宮春日)を対象に実施されました。意宇川沿岸で防災訓練を実施し、避難情報の周知を行うものです。住民一人一人が確実な避難行動がとれるよう「意宇川タイムライン」に基づき訓練が実施されました。

東出雲支所での対策本部設置・運営訓練、出雲郷小学校での避難所開設と住民避難訓練などが実

土砂災害特別警戒区域の指定に関する住民説明会

10月19日、「東出雲ふれあい会館」では「土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)の指定に関する住民説明会」がありました。土砂災害から市民の生命を守るため、土砂災害の恐れのある地域について、土砂災害特別警戒区域を新たに指定することとし、土砂災害防止法の説明と、東出雲町内における土石流18か所、急傾斜155



令和元年10月6日の意宇川防災訓練(出雲郷小体育館)

水害に日頃から注意を

平成26年の広島災害や平成29年の九州北部豪雨、令和元年の台風19号など、最近では過去に経験したことのない集中豪雨によって重大な災害が発生しています。河川付近から安全な場所へ移動することが肝要です。また、土砂災害警戒区域では区域外へ早めに移動しましょう。各家庭に配布されている「松江市防災ガイドブックハザードマップ」で確認し、万一の際は、マスコミ情報や防災行政無線、屋内告知端末(おしらせ君)を活用しましょう。避難情報が出たなら、避難所など安全な場所へ避難しましょう。早めの行動が命を守ることにつながります。



令和元年10月19日の土砂災害特別警戒区域説明会

2月定例議会予定

2月26日(水) 本会議(会期の決定、提案説明)

3月2日(月) 一般質問

3日(火) 一般質問

4日(水) 一般質問、議案質疑、委員会付託

5日(木) 予算委員会(質疑、分科会分担委託)

6日(金) 総務委員会・予算委員会総務分科会

9日(日) 総務委員会・予算委員会総務分科会

10日(月) 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会

11日(火) 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会

12日(水) 経済委員会・予算委員会経済分科会

13日(木) 経済委員会・予算委員会経済分科会

16日(日) 建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会

17日(月) 建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会

23日(日) 予算委員会(分科会長報告、質疑、討論、採決)

26日(水) 本会議(委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)

豪雨防災を考える

百年に一度の災害が毎年起きる異常気象の現代ですが、昭和39年7月に総雨量300ミリを超す豪雨で決壊した意宇川を例にとつて豪雨災害を考えてみたいと思います。

意宇川の森脇頭首工の可動堰

意宇川の森脇頭首工は、上流が真水で下流が汽水域。頭首工の中央には可動の堰があり洪水の際には水の力で水平になり洪水を調節する仕組みです。

この森脇頭首工、昨年の夏の台風襲来の際に河川管理者である県の指導により故障中の可動堰を撤去し、上流部では水位が大幅に下がって河床が露出しているところもあります。今年の需要期までには復旧すると聞いています。

河川管理者からは洪水の際の妨げになる頭首工ですが、この頭首工から取水する農民にとっては重要な水。また、取水した水が流れる水路には3か所の防火池があり、集落の重要な



令和2年1月現在の森脇頭首工

防火施設となっています。

2年連続で避難勧告

意宇川では、平成29年、30年と続いて避難勧告が出されました。非難判断水位が平成28年度に今までよりも低く定められた(出雲郷橋では今までより30cm低くなり3.1mが2.8m)ことによつての避難勧告でした。平成29年9月の台風18号では3.00mの水位、平成30年9月の台風24号では、一時ははん濫危険水位の3.30mに達したによつてです。突然の変更で唐突感があります。が、近年の異常気象による急激な増水に対処するために、は仕方がないと感じています。



水位3mを超えている 平成30年9月30日午後6時頃

意宇川危険箇所調査を実施

暴れ川の意宇川の現況を確認するため、昨年1月21日に「意宇川危険箇所調査」を島根県や松江市の河川・農業・防災関係の担当者、地元の水路・自治会などの関係者約20名を集めて実施しました。近年の異常気象によつて、河川の

増水や氾濫などの危険が増大しています。一方、河川管理でも土砂の堆積や立木の繁茂などの課題を持っています。特に意宇川は天井川の改修が進まない箇所もあり、度重なる洪水に襲われ流域の住民にとつて脅威になっています。そこで、今後の河川管理や農業用施設管理に役立てようとして、危険箇所の点検をしようということになったのです。



意宇川の水位計付近を調査



鼻線場頭首工付近を調査

少人数学級制度堅持の意見書議決など

11月松江市議会 松江市議会11月定例会は、11月27日から12月17日までの21日間の会期で開会されました。

最終日の本会議は、市長提案議案(初日提案26件、追加提案12件、計38件)について、原案通り議決しました。

そして、松政クラブが起案した議員提出議案3件も議決しました。「教職員定数の改善及び義務教育国庫負担金制度拡充に係る意見書」と、「過去最低となった食料自給率を引き上げる施策を求める意見書」は全会一致でした。

もう1件の「『少人数学級編成』の現行制度堅持及び『子ども読書活動推進事業』(学校司書配置事業)の教育の質と財源確保を求める意見書」は、賛成多数で議決されました。賛成した会派は「松政クラブ・公明クラブ・共産党議員団・友愛クラブ」で、反対した会派は「真政クラブ・市民クラブ」でした。(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページ「シヤ市報等をご覧ください」)